—進路部通信—

新宿折をり №0.38

平成 30 年 9 月 8 日 東京都立新宿高等学校 進路指導部

- センター「受験案内」配布
- 模試の結果について

『将来を担う君たちへ』

数学科 中根 聖司

人は皆、それぞれの環境の中で様々な体験をしています。苦労を強いられ、それを乗り越えようと前向きに努力し続けている人、まだ前向きになれない人もいるかもしれません。皆さんに『苦労や苦悩をして、困難を乗り越えることで、人は成長します』という言葉でエールを送りたいと思います。

世の中には、病気、失恋、受験の失敗、親しい人との別れ、裏切りなど様々なことが起こります。苦労や苦悩に耐え、それを乗り越えた人は、必ず強くなります。そして、その経験が生きる力となり、その人を輝かせます。努力もせず、苦労に立ち向かわず、愚痴ばかり言っている人がいたら、その人は自分の成長の機会を自分で奪ってしまっているように感じます。「苦労や苦悩は成長するチャンス」と捉えて欲しいです。以前に話題になったラクビーの五郎丸選手が「そのくらいの努力をしている人はたくさんいるよ」と言っていました。これ以上頑張れないと思った時、少しだけ立ち止まり、深呼吸して、周囲を見てみましょう。もっと頑張っている人がいるかもしれません。心から応援してくれる人がいるかもしれません。困難があっても、できる限り逃げることなく、乗り越える努力をして成長することを願っています。また、「将来どんな職業に就くのか」、「どんな人生を歩むのか」、「そのためには何をするべきか」を自問自答して、さらに考えて生活してください。陸上競技の室伏選手が『目標が高くなれば意識も高くなる。ひとりができるようになると、皆ができるようになってくる』と言っていました。社会人として共存共栄することが大切です。人は決してひとりでは生きていけません。新宿高校の一人としてネームバリューに負けないような生活を送ってください。

人間と動物の違いをどう考えますか。「生き方」だと思います。動物の生きる上での目標は、「生命の維持」と「種の保存」です。つまり、生命を維持できる環境さえあればよいことになります。人間が人間らしく生きていくためには、自分自身の夢や目標は何か、何に価値を見出すのか、自分自身と向き合い、しっかり考えることが必要です。高校時代は、将来の自分を夢見て将来像を描く光り輝く3年間です。

近年、大学が一般化、大衆化しています。レジャーランド化しているとも言われています。皆さんには教養を身につけて欲しいと思います。そのためには、哲学、思想、文学、歴史などの学問や読書から先人たちの知恵を学ぶこと、また美しい音楽を聴いたり、美しい景色を見ることで自身の感性を磨くことが必要だと思います。人生に思い、悩み、そして理想とする人格に近づけていってください。まさに、青春だと思います。Gototomorrow、頑張りましょう。

〇センター試験『受験案内』配布

9月5日(水)のセンター説明会で、3年生 全員に『受験案内』(志願票)を配布しました。 「志願票」の校内締切は9月19日(水)。それ までに各自で検定料の払い込みを済ませてくだ さい。払込は受験生の名前で行います。家族が 間違って親の名前で払い込んだり、また、金融 機関の窓口で払い込むべきところを ATM で払 い込んだりするミスが時々あります。もし、そ のようなミスをしても、あわてて二重に払い込 んだりせず、学校に相談してください。

リスニングで使用するイヤホンを既にクラ スに回しました。うまく耳に収まらない場合は、 センター試験に参加する最寄りの大学の窓口に 行って「イヤホン不適合措置申請書」に署名を してもらう必要があります。これを志願票に貼 り付けて出願することにより、試験当日にヘッ ドフォンの貸与を受けることができます。該当 する人は手続きをお願いします。

また、以前にも書きましたが、「志願票」に は「受験教科・科目数」を記入します。 したが って、出願までには志望校を確定させ、受験科 目を大学のHPで確認しておく必要があります。 志望校は第二、第三志望ぐらいまで考えて受験 教科と科目数を決定しましょう。

すべては『受験案内』に書かれています。熟 読して間違えの無いよう、注意してください。 今後の流れ

9月19日(水)「志願票」校内締切

10月2日(火)「志願票」発送(学校一括)

10月下旬に「確認はがき」到着

12月中旬に「受験票」到着

〇 3 年 出願資料請求について

センター試験の出願は学校が一括して行い ますが、その後の国公立二次、および私大入試 の出願は各自が個人個人で行います。募集要項 や願書なども自分で取り寄せてください。

その時に役立つ冊子「テレメール願書請求力 タログ」を3年生全員に配布しました。受験が 終わるまで大切に活用してください。

模擬一括受付 ○3年

秋以降に実施される主な模擬試験(各国立大 のオープン模試、早慶オープン模試など) の一 括受付を行います。

日時 9月12日(水)昼休み

3階エレベータ前 場所

申込書を事前にHRで配布しますので、希望者 はこの日に申し込んでください。

また、少し先のことですが、11月25日(日) は全員が河合センタープレテストを外会場で受 験します。どの会場で受験するかを後日届け出 てください。こちらの届出用紙も事前にHRで 配布します。

○模擬試験の結果について

夏休み前に実施した進研模試(1、2年)、駿 台マーク試験(3年)の結果が戻ってきました。

1年生は高校に入って初めての本格的な模 擬試験でした。平均偏差値を見るかぎり、英語、 数学、国語のすべてにおいてまずまずの滑り出 しと言えます。ただ、あくまでもこれは全体の 平均偏差値の話。皆さんは自分の得点がどうで あったかを客観的に分析してください。設問別 に自分の弱点を把握し、今後に活かすことが重 要です。分からないことを放置すると後々まで 尾を引きます。

2年生は、英・数・国の3教科ともに平均 偏差値が下がりました。下がったとは言っても 同時期の過去の先輩たちの成績と数値的にはほ ぼ同レベルなのですが、昨年の成績が飛び抜け てよかっただけ下がり幅が目立ちました。何が 原因なのかよく考えて次回/11月の模試に向け て準備してください。高校生活もいよいよ後半 に入ります。「一期の境ここなり」(今が人生の 岐路だ)という自覚を持って努力するほかに手 立てはありません。朝陽祭も、間もなくですし、

2年生はまだまだ部活動や行事の中心学年として忙しい日々が続きます。上手にやり繰りして、 学習時間はしっかり確保しましょう。

3年生 「駿台マーク模試」を受験しました。 この模試は全国の有名進学校が中心に参加する 模試ですので志望校の合否判定では厳しい結果 が出ているかもしれません。が、今は判定を気 にする時ではありません。昨年もこの模試のE

逆に、このテストで高得点をとれた人は自分の学習に自信を持って進んでいけばよいということです。気を抜かずに努力を続けましょう。

判定から合格に届いた先輩が何人もいます。

〇情報誌「栄冠めざして」VOL2配布

河合塾の情報誌「栄冠めざして」VOL2を全員に配布します。3年生が受験する2019年大学入試の受験科目が載っています。3年生には必須の一冊です。

2年生も、次年度科目選択決定に際し志望大学の受験科目を確認してください。1年生も同様です。いま学んでいる授業がそのまま受験科目になっていることが分かるでしょう。(ただし、大学によっては1年後、2年後に受験科目が変わる可能性もあります。H Pなどで確認しましょう。) 巻末には「英語外部試験を利用する大学」一 覧も載っています。

国公立大学入試対策会(予告)

9月28日(金)午後1時15分から、3年生とその保護者の方を対象に「国公立大学入試対策会」を実施します。前半は河合塾から講師の先生を招き"国公立大学合格に向けた最新入試情報と受験勉強のポイント"を中心とした講演会。後半は、国公立大学に進学した70回生から、自分の体験談をもとに語ってもらう予定です。 先輩が母校のために時間を作って来てくれます。

受験勉強で時間が惜しい3年生ですが、この 会の話は聞く価値が大ありです。国公立大をめ ざす人はもちろん、それ以外の人も是非参加し てください。

◇今後の予定

9/12 水 模試一括受付 (3年)

9/19 水 センター試験「志願票」校内締切

9/28 金 前期終業式·国公立大入試対策会

9/29~10/1 勉強合宿(希望者)

10/5 金 後期始業

10/7日 実力テスト (駿台・ベネッセ 3年)

先輩からの言葉

医師としての人生を想う

竹内 志津佳

新 18 回生 (1966 年卒業)

私は、戦後三年経って、石川県小松市の母方の 実家で産婆さんにとり上げられた。それから新宿 区左門町、諏訪左門の屋敷跡に両親が家を構えた のは、私が四歳の頃であった。二階からは富士山 も見えたし、両国の花火も見えた。その二年後に は戦後の復興が一気に進んだ。当時、日大の医学 生の叔父が我が家の二階に下宿していた。

父方、母方はどちらも旧家であったが、戦後のインフレで質屋を営む石川県小松の母方は金持ちになったが、富山県伏木の豪商だった穀物商の父方は経済的に困窮した。父はと言えば、逓信省上がりのサラリーマンで、やはり金銭的にはゆとりがなかった。父がKDDIに移ってからは時折会

社の医務室に、私は高熱を出して連れて行かれた。 その嘱託医には私と同い年の女の子がいて、信濃 町の立派な家に、一度母と尋ねた時、応接間でお 番茶に似た香り高い甘い飲み物が出た。初めて味 わう紅茶の味は真さに夢の飲み物だった。

当時母は、金沢大学入試に失敗した先行不安な 叔父をみて、戦前戦後を通して何時の時代でも浮 き沈みのない職業はと考えた挙句、医者ならばど の時代も食べてゆけると叔父に医学部受験を勧め た。そして叔父は産婦人科医になった。私が小学 四年生の頃、同医局の女医と結婚して青山に居を 構えた。

その頃から、私は将来医師になると広言してい た。昭和四十二年の頃はほとんどの女性は専業主 婦だった。私は、職業婦人を目指して東京慈恵会 医科大学に入学した。一学年百人中女性は十一人 であった。私は重症でもあどけない笑い声の聞こ える小児科を選択した。今は医学生の修学量は、 私の頃と比べ物にならない程膨大に増えたが、研 修時代の時間的拘束は今と異なり、ブラック企業 なみの過酷労働であった。当直で一睡もしなくて も翌日も普通に働いたし、当直でなくとも、重症 患者で何日も病院に泊る生活が延々と続いた。私 達は危険、汚い、過酷の三kと呼んでいた。私が 何日も消息不明で、両親が病院に電話すると今手 が離せないと看護婦さんに言われ、父親は一時間 もかけて病棟にお弁当をそっと届けて帰った事も ある。恋愛といえば、中学から医学部までは、時 間が自由になったが、病院勤務になってからはほ とんど難しくなった。職場の環境は、男性医師と 同等に働いていても女性蔑視は存在した。或る女 医が、或る時、女医はモデルと同じで子供ができ たら辞めますよと言った事がある。医局が、連携 する病院に医局員を派遣して医局の運営が行われ、 私たちは将棋の駒のようにあちこちの病院に出張 した。私はその間に婚期を逃がしてしまったとも 言える。それでも三十五才の時一度目の結婚を機 に、そのヤクザな世界から足を洗い札幌に移り住 んだ。そして北大に所属し、そこから単身二年半 の米国衛生研究所に留学を経験した。ほとんどの

研究は膨大な研究の中に埋もれるので、研究は留学の名目に過ぎなかった。しかし世界を知り、考え方の幅が広がり文化の違いを学べたことは人生に大きな影響を与えた。その間に夫と離婚する事にもなったが後悔はなかった。

帰国してからは、内科研修し内科への転換を図 った。僻地医療を行ってみたかったからである。 平成八年、島根県の山中の国保診療所から二番目 の夫と僻地医療が始まったのである。自然に育ま れて生活している人々の死様から、多くの生様を 学んだ。春には蕗の薹、タラの芽や、筑紫が取れ、 鴛鴦が江川に遊び、狐が野山を駆け回る長閑な風 景の中にも、都会と変わらぬ苦悩や悲しみが存在 するのかと驚いた。忘れえぬ多くの人々との出会 いと別れがあった。検死にも多く立ち会ったが、 瀬戸内海の魚島では未熟児を船内でとり上げた。 僻地では工夫を凝らし、二十四時間切れ目ない医 療を心掛けた。研修会や学会に両親引き連れて参 加し、医学の研鑽に努めた。また大病院では気付 けない事象にも多く気づかされ、じっくりと病態 を把握する機会になった。例えば、癌におかされ ても、末期まで知らされなければあまり痛みを訴 えないものである。手付かずの病気を見つけるこ とは楽しい。結局、島根県山中に五年、長崎県と 愛媛県離島に十一年ほど、僻地医療に携わった事 になる。両親が高齢化し、父と母が入退院を繰り 返し始めた時、離島医療に終わりを告げた。海の 宿のような診療所住宅の二階に三人で川の字にな って眠った事は、何と幸せであったか。

両親も片付いた今、人生の黄昏期に勤務形態の縮小や、パートナー探しなど課題多く、中々大往生など出来そうもない。

「面白きこともなき世を面白く住なすものは心な りけり」であろうか。

(朝陽同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」 を掲載しています。)